

日野都市計画事業万願寺第二土地区画整理審議会

第41回審議会議事録

1. 召集通知の日 令和7年1月28日(火)
2. 開催の日 令和7年2月5日(水)
3. 開催場所 万願寺第二・東町まちづくり事務所
4. 審議会委員の数 8名
内訳 ・所有権者 5名
・借地権者 1名
・学識経験者 2名
5. 出席者数 21名
内訳 ・審議会委員 出席7名
藤和通信工業(株)佐藤外次
田中基行
金子勉
落合正久
川島大介
原田龍次
深井祐紘

・審議会委員 欠席1名
小泉一夫

・日野市 9名
まちづくり部長 岡田 正和
区画整理課長 井上 泰芳
区画整理課長補佐 山本 修平
工事係長 窪寺 昌司
補償係長 天野 克己
補償係主査 井尻 顕雄
換地係長 岡澤 健一郎
換地係主任 矢光 亜紀子
換地係主任 野上 峻輔

・都市づくり公社 5名
日野区画整理事務所長 若月 純子
換地・補償担当課長 木原 博史
移転工事課長 宮川 雄一
換地係長 川嶋 輝之
換地担当係長 岩田 幹子

6. 会議の目的たる事項

- ・その他 令和6年度事業進捗について
その他報告事項について

7. 傍聴人 1名

<午後2時00分>

会長 : 挨拶。まちづくり部長に、挨拶を促した。

岡田 : 挨拶をした。

会長 : 日野区画整理事務所長に、挨拶を促した。

若月 : 挨拶をした。

[審議会開会]

<午後2時04分>

会長 : 第41回日野都市計画事業万願寺第二土地区画整理審議会の開会を宣言した。
本日の議事の進め方については、次第に基づき進める旨を説明した。
本日の欠席委員は小泉委員1名で、深井委員と佐藤委員が少し遅れると報告し、
5名の審議会委員が出席しているので、土地区画整理法第62条第3項の規定
に基づき、審議会は成立したことを告げた。
また、議事録署名委員に落合委員、川島委員を、議事録の書記に事務局の矢光
主任と野上主事を指名した。

会長 : 本日の審議会の主旨説明を事務局に指示した。

山本 : 配布資料の確認と本日のその他で令和6年度事業進捗について、その他関連す
る報告をすることを伝えた。

(14:09 深井委員入室)

会長 : 令和6年度事業進捗についての説明を事務局に指示した。

山本 : 今年度予定していた建物移転はすべて完了し、旧メグミルクの通りと甲州街道
を結ぶ南北道路7・5・4号線の整備を進めていると説明した。
万願寺第二地区の今年度予算は2億6千万円で、令和5年度より6千万円多く
投入し事業を進めている。令和5年度末の事業費ベースの進捗率は約61%で

令和6年度は1%前後進捗する見込みであると説明した。

また、来年度はさらに北側に道路が伸ばせるよう予算を要求していて、3月議会の承認後、令和7年度事業内容と合わせて、区画整理だよりでお知らせすると説明した。

会長 : 今の説明について、質問があるか尋ねた。

■ : 再確認で建物移転6棟すべて終わっているのか。

山本 : すべて終わっている。

■ : 今日は仮換地指定諮問が無いが、来年度は工事が順調に進む予定か。

山本 : 今年度建物移転した北側の権利者に少しずつ接触し、来年度移転が予定どおり進むと考えていると説明した。

■ : ありがとうございます。

■ : 来年度に甲州街道まで開通するか。

山本 : 来年度の開通は難しいと考える。甲州街道との接続部分の形について交通管理者の警察と協議することとファミリーレストランも含めて築造しなければならないので、もう少し時間が掛かる。

令和9年度までの財政再建期間中においても重点実施エリアとして考えていて、令和9年度に向けて権利者との協議を進めたり、予算を確保したりと準備を進めているので、もう少し時間をいただきたいと話した。

(14:14 佐藤委員入室)

会長 : その他報告事項について説明を事務局に指示した。

山本 : その他報告事項について説明した。

市施行土地区画整理事業4地区の進捗率は現在6割超の状況であり、万願寺第二地区においては、多摩都市モノレール及びその導入部の都市計画道路、幹線道路を整備しながら用地を確保し、駅周辺部の利便性が高めるような街区形成を行い、地域の課題を改善しながら、土地区画整理事業によって市街地形等のまちづくりを進めてきた経過がある。一方で事業が始まって30年経つが、現実として6割の進捗率に留まっていて、そのため完了の時期が見通せない状況にあり、権利者や市民より早期整備を求める声が大きくなってきている。しかし、財政非常事態宣言が出されている財政再建期間中であることが要因となり、今後の見通しについてなかなか説明できない状況は担当課として責任を感じ

ていたところである。区画整理だよりでお知らせしているように、財政全体の影響も見極めながら、区画整理事業を進めなければならない状況にあり、区画整理事業自体を合理的に進める方法について検討を重ねてきた。これまで道路幅員を見直しなど、さまざまなことを検討してきたが、限界も見え、事業費についても昨今の人件費、資材費、建設物価等の上昇によって増加も避けられない状況も見えてきた。残りの30%余りを進めていかなければいけない中、進捗率の鈍化が顕著で、事業を完了させるためには、残事業の資金計画及び実施工程を再整理し、その結果を皆様を示さなければいけないと考えている。そこで区画整理事業の事業費とは別枠で業務委託費を計上し、今年度から来年度の約1年かけて、資金計画及び事業費を再整理する委託業務を別途発注して進めている。その動きについては逐一、審議会に報告する。事業完了に導くために、長期的な工程と、資金計画を見直し、資金の調達方法を検証し、併せて長期化による権利者の負担軽減についても検討を考えている。その結果は、市全体のまちづくりを考える機関である都市計画審議会で議論をしてもらい、方向性、結論を出していく形で進めたいと思っている。都市計画審議会には、有識者のほか、公募で選ばれた市民や議員選出の委員がおり幅広い層での議論ができ、万願寺第二地区も含めた4地区全体のことをさまざまに考えていく形で進められる。都市計画審議会は公開され、議事録も含めて公開される。土地区画整理審議会の中でも、その時点毎に用意できる資料を説明し、情報提供しながら進めていくので、事業完了までの道筋をつける取り組みとして、理解協力をいただきたいと考えている。また、権利者には区画整理だより等で検討、議論した内容について説明しようと考えている。

最後に、引き続き審議会委員へ協力を依頼した。

会長　：　今の説明について、質問があるか尋ねた。

岡田　：　最後、事務局から説明した話は資料もなく、理解が難しかったと思われるが、今後、都市計画審議会の資料を使いながらわかりやすく説明していくことを伝えた。また、今日の説明で不明点があればいつでも区画整理課に問い合わせるように話した。

会長　：　質問がない事を確認し、審議会の閉会を宣言した。

[審議会閉会]

<午後2時25分>

この議事録は、書記が記載したものであるが、その内容が正確である事を認めここに署名押印します。

令和 7 年 3 月 17 日

会 長 田 中 基 行

署名委員 川 島 大 介

署名委員 落 合 正 久